

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路維持事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	染谷 祐治				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が管理する道路	意図	側溝清掃、道路内支障樹木の除去等の適切な管理により、道路機能及び交通環境を安全かつ快適な状態に維持する。
事業内容	・側溝・集水桝等、道路排水施設の機能維持に係る清掃、並びに清掃等に伴い発生する汚泥・廃棄物等の処理及び視界不良又は危険となる支障樹木の剪定により、市道の良好な交通環境を保ち、安全・快適な供用のために必要な維持管理作業を実施するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和45年の開始から、各地域における宅地造成の活発化及び区画整理事業の進展により、市道の管理延長が増加している。これに伴い、今後は側溝等清掃延長の増加により発生する汚泥の適正処理が課題である。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		道路内樹木剪定委託	1	2	2	件	
	道路排水施設等汚泥処理	229	197	163	m ³		月別発生汚泥処理の累計数量
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・市道の管理延長は増加しているが、新設される側溝が落ち蓋式であることや、自治会要望での既設側溝への蓋かけにより、側溝清掃で発生する汚泥の処理量は減少している。						
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		20,548,530	23,240,779	20,387,810			
事業費(b)(円)		17,802,530	20,555,979	17,751,010			
うち一般財源		17,802,530	20,555,979	17,751,010			
職員給与費(c)(円)		2,746,000	2,684,800	2,636,800			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	・上下水道局と連携し、公共下水道の接続を促進することにより、雑排水等を原因とする汚泥の堆積量の減少を図る。
H30に実施した取組(Do)	・公共下水道供用区域で臭気を伴う排水を確認した際には、側溝清掃だけでなく、上下水道局に公共下水道未接続宅地を確認し、接続促進活動を依頼することに努めた。

取組における課題(Check)	・年間を通して多数寄せられる側溝清掃依頼にかかる経費の節減を図る。
課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・日々寄せられる側溝清掃依頼について、現場確認での状況判断の精度を向上させ、機動班での対応と、業務委託による作業が必要なものの判別をより的確にして、経費の節減に努める。